

危険

リチウムイオン電池 火災発生の原因!?



リチウムイオン電池とは・・・？

リチウムイオン電池とは、充電可能な電池であり、多くの小型家庭用電子機器（充電して使用する製品）に使われています。

＜リチウムイオン電池が使用されている主な製品＞



ハンディファン



加熱式
たばこ



モバイル
バッテリー



ノートパソコン
スマートフォン



コードレス
掃除機



電動シェーバー
電動歯ブラシ



デジカメ



ワイヤレス
イヤホン



ゲーム機



POINT

見分け方：充電すれば、コンセントに繋がずに使用できるもの

どうして分別が必要？

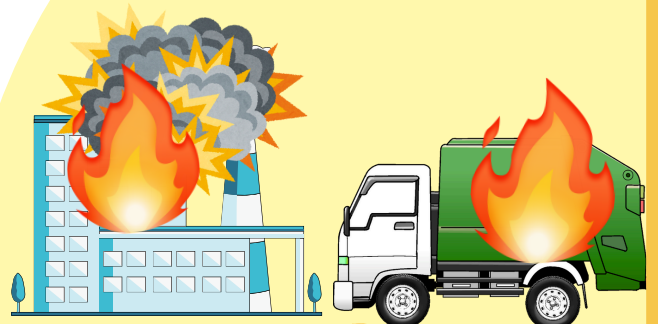
昨今、リチウムイオン電池を原因とした事故が全国で多数発生しており大変危険です。
リチウムイオン電池は、強い衝撃が加わり破損すると発火する恐れがあります。
そのため、他のごみに混ざって処理されると、リチウムイオン電池から発火し大きな火災に繋がります。

分別

のご協力をお願いします

⇒詳しい出し方は、裏面をご確認ください

ごみ処理施設やごみ収集車で
火災が起きると、
ごみの処理ができなくなります！



正しい出し方

ご購入いただいた店舗、販売店等での
回収・リサイクルを優先してください

※回収可否や料金等の詳細については、事前にご購入いただいた店舗・販売店等にご確認のうえ、お持ち込みをお願いします。

やむを得ずごみとして出す場合は、
以下の2パターンのどちらかでお出してください

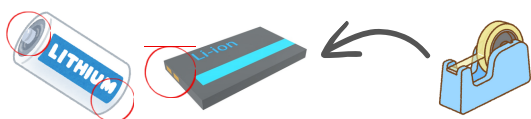
パターン①

①.家電製品からリチウムイオン電池を取り外す



※本体からリチウムイオン電池が取り外せないもの（ハンディファン等）については、取り外し不要です。

②.リチウムイオン電池は絶縁する



プラス(+)極とマイナス(-)極や、金属端子部分にセロハンテープなどを貼って絶縁してください。

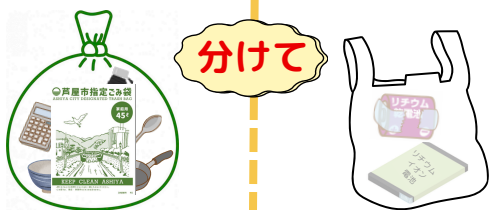
③.中身の見える透明な袋に入れる



他のごみと混ぜないで、中身の見える透明な袋に入れてください。

（芦屋市指定ごみ袋でも出せますが、安全のため他のごみと見分けがつくように、指定ごみ袋とは別の袋が望ましいです。）

④.「その他燃やさないごみ」の日に他のごみと分けて出す



※リチウムイオン電池を取り外した後の家電製品は、一番長い辺が30cm未満については、指定ごみ袋に入れて「その他燃やさないごみ」の日に出してください。

パターン②

リチウムイオン電池が膨れているものや、液漏れしているものについては、
環境処理センターへ直接お持ち込みいただく場合のみ受付可能です。

また、お持ち込みされる場合は、名前・電話番号、持ち込むものの数や大きさ等の情報を事前に電話にてお知らせください。